

公共事業事前評価調書(令和2年度予算要望)

所管課: 都市公園課

担当班: 公園緑地班

事業名	宮古広域公園整備事業		事業区分	公園事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	宮古島市下地字与那覇地内					
事業の諸元	公園面積=約50.2ha					
事業の概要	本事業は、基本方針を「自然と景観」、「利用・活用」、「整備・運営」とし、宮古島らしい景観の保全と新たな景観の創出を図り、地域住民の日常のレクリエーション、観光及び滞在型レクリエーションへ対応する公園を整備する。					
事業の必要性・効果等	<p>&lt;必要性&gt; 宮古圏域では、大規模イベント、スポーツコンベンションへの対応等が遅れており、また、周辺離島を含めた広域のレクリエーションや観光資源となる「海と海辺」を活かした公園整備が必要である。</p> <p>&lt;効果等&gt; 本事業は、海辺や緑地など宮古島らしい自然環境を保全しつつ、景観的要素を高めることで公園利用者に癒やしを与え、「自然とのふれあい」を楽しめる場を提供することができる。また、大規模イベント等に対応することで、観光客を交えた地域間の交流が深まり、観光施設の一つとして地域振興に寄与する。</p>					
事業期間	事業採択	令和2年度	完了(予定)	令和15年度		
全体事業費	74	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	1/2
費用対効果	B/C	総便益:B	70	(億円)	総費用:C	60
	= 1.169	① 直接便益22億円 ② 直接便益(波及効果含)35億円 ③ 間接便益13億円		① 建設費47億円 ② 維持管理費13億円 ③		基準年 平成 29年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>「沖縄21世紀ビジョン基本計画」で、宮古圏域において「広域的レクリエーション需要に対応した広域公園の整備」として位置づけられている。</li> <li>「沖縄県広域緑地計画」において、宮古広域にあっては「恵まれた海をテーマにして、観光交流と地域振興の拠点公園を適所に配置する」と位置づけられている。</li> </ul>					
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた海辺の自然環境と景観が最大の魅力となる公園であるため、海辺や緑地に影響を与える整備は最小限にとどめ、モクマオウの人工林などは、自然度の高い海岸植生へ遷移を進める。</li> <li>海辺の景観だけでなく、草花、芝生、樹林地の景観など、公園全体を重視して公園景観を創出する。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	美ぎ島美しや市町村会から要請があり、宮古島市のスポーツアイランド構想の実現や市民の健康増進、観光産業など、地域活性化に貢献するものとし、広域公園の早期整備を望んでいる。					
概要図(位置図)						